

審査員総評

【写真の部】

最優秀賞は全ての部門で人物が写っています。街には必ず人々が生活をしています。“街と自然と人”の関わりが写っていて、しかも写真として調和されている所が良かったと思います。

来年に向けてのアドバイスとしては、ピント・ブレ・プリントの色にもう少し気を付けてください。また、たくさん出されるより1～2枚に絞って「これだ!」という作品を提出してください。

昨年よりレベルアップしています。来年が楽しみです。

写真家 野寺 治孝

今年は風景の中に人物が入った良い作品が最優秀賞に4点入りました。

全体を見るとピントの甘いもの、タイミングのずれたもの等、惜しい作品も見えました。

また、同じような作画を何点も出す方もおり、ご自身の思い込みが強いようです。最高の批評は家族です。一度見てもらうのが良いのではないのでしょうか。

江戸川文化写真連盟 代表 関根 淳一

※区長賞は各部門の最優秀賞から選出されました。
(今年度の区長賞は冬の部 最優秀賞作品)

【短歌の部】

今回、中学生以下の作品が無かったのは寂しいことでした。

しかし、選に入った方々の作品に於いては作者自身の軸脚がしっかりしていること、そして素材が身近の事象であり、目が行き届いている所が素晴らしかった。何よりも、巧みにうわべを飾ることなく自らの言葉で詠っていることがとても良かった。

江戸川区短歌連盟 委員長 中島 央子

【俳句の部】

大人の部は総数373句。季語別にみると、春71、夏137、秋105、冬30、正月7句。無季の句13、季重なりの句10ありました。

夏と秋に集中しているのは、親水公園や菖蒲園などを散策する機会が多いからでしょう。区歌の出だしも「風と緑の香にあけて」とあるように、花と緑は江戸川区の誇らしい自然です。

子どもの部の279作品は、型にとらわれない爽やかさ、躍動感を感じます。表現の力も年々上達しているようです。どんどん俳句を作ってください。

2020年はオリンピック・パラリンピックの年です。大勢の外国の方々が江戸川区を訪れます。もしお話しする機会がありましたら、江戸川区の自然の素晴らしさを、俳句などを通してご紹介してください。

この大会は毎年開催されています。俳句を愛する人々が年々増加されることを願っています。また来年、俳句をとおしてお逢いしましょう。

江戸川区俳句連盟 会長 山内 健治

平成30年度 花と緑の写真・短歌・俳句コンクール

【対象期間】 平成29年12月1日(金)～平成30年11月30日(金)

【応募総数】 写真の部 146点 短歌の部 74首 俳句の部 652句

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

平成31年度 花と緑の写真・短歌・俳句コンクール

江戸川区には、すてきな花や緑の風景があふれています
自分だけの大好きな場所、瞬間を見つけて発信してみませんか？

江戸川区内の《四季の**花・緑、人**》をテーマにコンクールの作品を募集しています
入選作品は「入選作品展示会」及び「入選作品集」に掲載されます

審査対象期間	平成30年12月1日(土)～平成31年11月30日(土)に応募された作品	
部 門	写真の部	「春の部」、「夏の部」、「秋の部」、「冬の部」 小松川千本桜・新川千本桜の桜、なぎさ公園のツツジ、小岩菖蒲園の花菖蒲を撮影した作品は観光PRポスターのデザインに使用されることがあります。 【観光PRポスターとは】 江戸川区の花の名所をPRするポスターです。 採用された場合、あなたの作品がポスターとして区内の各駅や施設などに掲示されます。
	短歌の部	「大人の部」、「子ども(中学生以下)の部」
	俳句の部	「大人の部」、「子ども(中学生以下)の部」
応募方法	作品に氏名・年齢・住所・電話番号(写真の場合は題名、部門、撮影場所も)を記載の上、下記応募先まで郵送・FAX、または持参。 詳しくは下記までお問い合わせください。	

応募先・お問合せ先／公益財団法人 えどがわ環境財団 花とみどりの啓発係
〒132-0031 江戸川区松島1-44-12 KTパークビル
☎：03-5662-5542 FAX：03-3652-1557